

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Hc006M	行事名	シェアリングエコノミーセミナー
行事形式	ICTセミナー	主催団体	中国総合通信局、中国情報通信懇談会
開催日	平成30年6月26日(火)		開催場所 中国運輸局「海技試験場」 (広島市中区上八丁堀6-30)
行事参加者数	65名	WebサイトURL	http://www.cic-infonet.jp/
行事実施概要・アピール等			
<p>平成30年6月26日、広島市において、中国総合通信局及び中国情報通信懇談会の共催でシェアリングエコノミーセミナーを開催し、地方自治体及び民間企業等65名が参加しました。</p> <p>シェアリングエコノミーは、使われていない資産をネットワークのマッチング機能を活用して、必要な人に提供、共有することで新たな価値を生み出す新しい経済の動きですが、本セミナーでは、とりわけ地域活性化の視点から、その可能性と活用方策に関する講演や、観光地における駐車場不足などの自治体が抱える地域課題を解決するにあたっての具体的な事例の紹介を行いました。セミナーは2部構成で開催され、第1部では、尾道市産業部観光課 専門員 岩田 勉 氏から、尾道市の観光の現状と課題についての講演後に、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 株式会社スペースマーケット 積田 有平 氏から、シェアリングエコノミーに関する説明とともに、尾道市の現状を踏まえた課題解決に向けた事例の紹介や、シェアリングエコノミーを活用した地域活性化についての講演がありました。第1部では、会場内に用意されたWi-Fi環境を使って、スマホでWEBにアクセスして講師への質問を書き込む参加者の姿やスクリーンに映し出された参加者からの質問に講師が答える場面もありました。</p> <p>第2部では、軒先株式会社 代表取締役 西浦 明子 氏から、総務省ICT地域活性化大賞2017奨励賞を受賞した「地域連携型駐車場シェアによる観光課題の解決」について、サンフレッチェ広島の臨時駐車場問題や、尾道市のような観光地で瞬間的に増大する駐車場需要問題の解決事例の紹介がありました。続いて、株式会社ガイアックス TABICA事業部 地方創生室長 細川 哲星 氏から、総務省ICT地域活性化大賞2016奨励賞を受賞した「地域の暮らしを体験できる着地型サービス「TABICA」」について、農業や漁業等を地域の体験資源として活用するとともに、地域のファンとリピーターを増やして地域の活性化につなげる経験・体験のシェアリングエコノミーについて紹介がありました。</p> <p>地方自治体における遊休資産の活用により、地域課題の解決や地域の活性化を図る手段のひとつとして、シェアリングエコノミーに関する優良事例を聞くことができたことから、今後、シェアリングエコノミーの推進を図る上で、とても有意義な講演会であったものと考えます。</p>			

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

